

自己改革

J A紀南の挑戦

連載 ④

生産資材の価格低減



生産資材の一層の価格低減へ農薬の特別対策品目を設定

は特に従来の農薬対策品目とは別に、18銘柄（20規

昨年12月4日に開いた生産資材購買情報会議でJ Aの坂本守専務は「農協改革が言われ

農薬で18銘柄の特別対策 予約運動への積上げを力に

J Aグループの自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」を目指すうえで、J A紀南は農産物販売価格の向上と生産資材価格の低減による所得増大対策への取り組みを強化している。購買事業では共同購入の根幹をなす予約運動へ

の結集の高まりが価格低減の最大の力となるため、平成30年春夏期の肥料・農薬予約運動でも営農地区懇などを通じ組合員に運動への参加を呼びかけている。特に使用頻度の高い農薬を特別対策品目とし大きく支援を拡大している。

格）からなる特別対策品目を設定し、前年度までの予約価格に対して最大で19%下げの価格支援を打ち出している。特別対策品目の設定にあたっては、より広く対策を波及するため、年間の供給数量（袋数）を基準に選定を行った。マイコシールド、スコア顆粒水和剤、モスピラン顆粒水溶剤など梅・ミカンなどの果樹用農薬に、プレバソフロアブル5やビームアドマイヤーなど水稲・野菜の農薬も含む。

冬期恒例の営農地区懇談会は、予約運動の他、営農に関する要望の吸い上げや意見交換を行っており、今年1月14日までに計71会場で開催する。各地区では地区懇開催後、営農指導員による相談会を設けるなどして、予約運動への積極的な参加を呼びかけている。

肥料・農薬の供給には予約

と当用があり、平成28年度の予約割合は、全体で肥料は約82%、農薬は約78%。予約割合が90%を超える地区がある一方、一部では50%を下回る地区もあり、全体としての予約への結集力の高まりが今後の価格低減を進めるうえで重要であると考えている。

農薬特別対策品目 18銘柄 (20規格)

- Zボルドー(1kg)
- アブロードフロアブル(500ml)
- オーソサイド水和剤 80(1.25 kg)
- ペンコゼブ水和剤(1kg、10kg)
- ジマンダイセン水和剤(1kg、10kg)
- スコア顆粒水和剤(335g)
- スタークル顆粒水溶剤(500g)
- ストロビードライフロアブル(500g)
- デランフロアブル(500ml)
- フィガロン乳剤(100ml)
- フェニックスフロアブル(250ml)
- ベルコート水和剤(500g)
- マイコシールド(666g)
- モスピラン顆粒水溶剤(250g)
- ロブラール水和剤(500g)
- プレバソフロアブル5(250ml)
- トップガンGT 1キ口粒剤 51(1kg)
- ビームアドマイヤー粒剤(1kg)

90円（税込）コスト低減を目的に銘柄集約を行った果下統一の水稲肥料「エムコート522」も一発肥料として組合員の評価を得ている。

J A紀南は自己改革の実践を通じ農業所得の増大と地域の活性化にチャレンジしています